


## 1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある」







項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	

（注）4年1月判断は、前回3年10月判断以降、4年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

## （判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、電子部品・デバイスや汎用・生産用・業務用機械を中心に、持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

## 【各項目の判断】

項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	
生産活動	緩やかに持ち直している	持ち直している	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	
設備投資	3年度は増加見込み	3年度は増加見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	
住宅建設	持ち直しつつある	持ち直しつつある	

## 【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある」

百貨店・スーパー販売は、客足の戻りのほか、衣料品に動きがみられることから、持ち直しつつある。コンビニエンスストア販売は、繁華街や観光地周辺の店舗において客足が戻っていることから、持ち直しつつある。ドラッグストア販売は、食料品や衛生用品を中心に堅調に推移している。ホームセンター販売は、DIY関連商品や園芸用品を中心に堅調である。家電大型専門店販売は、巣ごもり需要等の反動がみられるものの堅調である。乗用車の新車販売は、一部に供給面での制約がみられるものの、持ち直しつつある。宿泊は、助成事業の効果もあり持ち直しているものの、足下では感染症の影響により弱い動きがみられる。

(主なヒアリング結果)

- 行動制限が緩和されたため徐々に客足が戻り、休日に家族連れで買物をしている姿がみられるようになった。気温が下がったことや旅行に出かける機会が増えたことから、衣料品に動きがみられた。(百貨店・スーパー)
- 巣ごもり需要が続いており青果を中心に生鮮食品が引き続き好調。前年に比べ、年末年始の帰省客が多く、来店客数が増加した。(百貨店・スーパー)
- スポーツイベントの開催や行楽需要がみられ、駅や空港周辺の店舗の売上がよくなった。(コンビニエンスストア)
- 巣ごもり需要やテレワーク需要の反動がみられるものの、在宅時間を快適に過ごしたいというニーズや買い替え需要も継続しており底堅く推移している。(家電大型専門店)
- 納期の遅れはあるものの、半導体不足や海外生産部品の調達難等による供給制約は緩和されつつあり、年明けの販売台数は前年を上回る見通し。年末年始のキャンペーン効果もあり受注は好調である。(自動車販売店)
- 助成事業の効果もあり、宿泊者数はコロナ前の9割程度まで回復した。修学旅行需要も加わり好調だったが、感染拡大を受けて予約のキャンセルが増加している。(公的機関)
- 業態によって回復の程度に差はあるものの、年末年始まではレストランや居酒屋等は好調で回復の兆しがみえていたが、感染拡大により客足が減少しており再び厳しい状況に戻っている。(飲食業界団体)

### ■ 生産活動 「持ち直している」

食料品等は、横ばいの状況にある。電子部品・デバイスは、車載向けや民生向け部品を中心に好調に推移している。化学・石油製品は、自動車向け製品を中心に堅調である。汎用・生産用・業務用機械は、半導体製造装置を中心に好調に推移している。輸送機械は、自動車及び同部品に半導体不足の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。

- 紙パックなどの家庭向け焼酎の需要が引き続き堅調であり、飲食店向けは感染症の落ち着きから回復傾向にある。(食料品等)
- 車載向け半導体需要に加え、世界的な半導体不足を受けた家電・通信機器を含む全般的な分野での需要が旺盛で、フル生産が続いており、受注残を抱えている状況。(電子部品・デバイス)
- EVの需要拡大や海外における自動車需要の回復を背景に、自動車向け製品はフル生産となっている。(化学・石油製品)
- 世界各地で半導体メーカーの投資計画が拡大傾向にあり、半導体製造装置の受注は好調に推移し、高い生産水準を維持している。一部の部材の調達が厳しい状況にあるが、工程の組み替えなどで対応している。(汎用・生産用・業務用機械)
- 半導体不足の影響については、長期化し解消の目途が立っていない。一方、東南アジアを中心とする部品供給の不足については、11月以降正常化しており、緩やかな生産回復が続く見込み。(輸送機械)

### ■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

感染症の影響がみられるなか、有効求人倍率は緩やかに上昇している。新規求人数は医療・福祉、職業紹介・労働者派遣業、宿泊業・飲食サービス業を中心に前年を上回っている。

- 半導体関連の製造業等に関する求人は引き続き多く、宿泊業・飲食サービス業もコロナ禍以前には及ばないものの、前年よりは求人が増えてきている。(公的機関)
- 自己都合等での退職者が出たことに加え、客室の稼働率が上がってきたことで従業員が不足気味となっている。(宿泊業)

### ■ 設備投資 「3年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 製造業では「自動車・同附属品製造業」などで減少見込み、「情報通信機械器具製造業」などで増加見込みとなっており、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業では「宿泊業、飲食サービス業」などで減少見込み、「運輸業、郵便業」などで増加見込みとなっており、全体では増加見込みとなっている。

- スマートフォン向け電子部品の増産に向けた新工場増設に伴う開発ラインの整備や生産設備拡充。(情報通信機械器具製造業)
- 現行船の老朽化に伴い新船を建造。(運輸業、郵便業)

### ■ 企業収益 「3年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 製造業では、「業務用機械器具製造業」などで減益見込み、「生産用機械器具製造業」などで増益見込みとなっており、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業では、「鉱業、採石業、砂利採取業」などで減益見込み、「宿泊業、飲食サービス業」などで黒字転化見込みとなっており、全体では増益見込みとなっている。

### ■ 企業の景況感 「現状判断は『上昇』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 3年10~12月期の景況判断BSIをみると、全産業では『上昇』超となっている。先行き(全産業)をみると、4年1~3月期は『上昇』超の見通しとなっている。

### ■ 住宅建設 「持ち直しつつある」

- 新設住宅着工戸数をみると、前年を上回っている。

### ■ 公共事業

- 公共工事請負金額(3年4-12月累計)をみると、前年度を上回っている。

### ■ 農業

- 野菜の農協共販量をみると、10月、11月は前年を下回っている。野菜の販売単価をみると、10月、11月は前年を下回っている。
- 牛のと畜頭数をみると、10月、11月は前年を下回っている。牛の枝肉卸売価格をみると、10月は前年を上回り、11月は前年を下回っている。
- 豚のと畜頭数をみると、10月は前年を下回り、11月は前年を上回っている。豚の枝肉卸売価格をみると、10月、11月は前年を下回っている。

### ■ 倒産

- 企業倒産(3年10-12月期)は、件数、負債金額ともに前年を上回っている。

## 3. 各県の総括判断

	前回(3年10月判断)	今回(4年1月判断)	前回比較	総括判断の要点
熊本県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、汎用・生産用機械や電子部品・デバイスを中心に、回復している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
大分県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の落ち着きにより、百貨店・スーパー販売や観光関連が回復しており、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しているほか、雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
宮崎県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっているが、足下では、改善のテンポが早まる兆しがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、百貨店・スーパーやレジャー・観光施設などで客足の戻りがみられることから、持ち直しつつある。生産活動は、化学工業や繊維工業を中心に緩やかに持ち直しつつあるほか、雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
鹿児島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある		個人消費は、大型小売店販売や宿泊・観光面で客足に戻りがみられるなど、持ち直しつつある。ただし、足下では感染者数増加の影響がみられる。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。